

I Love Logi

第8回

～ アイラブ おぎ ～

「芦刈音頭」

町の伝統文化を次の世代へ

芦刈音頭保存会の代表の皆さん



芦刈音頭 24年の歴史

芦刈町には、作詞・作曲・編曲・唄、全てが芦刈町民の力で作られた「芦刈音頭」がある。耳に馴染むメロディと、歌詞には「住の江橋」、「有明海」に「むつごろう」と芦刈町の情景が目につかぶ、親しみやすい唄だ。昭和61年に完成し、当時は夏祭りなどで踊られていたが、時代と共に、踊る機会が減ってきたという。

そこで昨年、「芦刈音頭をもっと町内行事に取り入れ、地域力の源にしよう!」との思いに燃えた有志の方々を中心に、「芦刈音頭保存会」が発足。

以来、賛同する人が徐々に増え、現在、メンバーは約30人ほど。初心者も多く、月1回の練習を楽しみに和気あいあいと活動が続いている。

次の世代に踊り継ぐ

「芦刈音頭」という地元の踊りをもっと多くの若者にも知ってほしいと、今年1月、成人式(芦刈会場)で「芦刈音頭」を披露する事を企画。新成人は地元の踊りを食いつけるように見入っていたという。

また、2月には芦刈小学校の6年生を対象に初の「芦刈音頭」の練習も企画。

初めて目にし踊る子が多く、最初はぎこちない動きだったが、保存会の方々に手とり足とり教えてもらい、最後は元気いっぱいに踊る姿が印象的だった。

練習の最後に、代表の橋間大樹さんが「芦刈の伝統芸能として、これからも芦刈音頭を受け継いでいきたい」とお礼の言葉を述べた。初授業を終えて、保存会の森永さんは「みんな真面目に練習してくれたので、覚えも早かったですね。子どもたちと踊れてとても楽しかったです」とにっこり。

メンバーの皆さんは、「これからも芦刈の伝統文化として、いろんな機会にどんどん踊っていききたいです」と決意に燃えている。



成人式のお祝いに駆け付け、ひと踊り。新成人の成長した姿に感慨もひとしお。



芦刈小学校の子どもたちと一緒に楽しく踊った。

芦刈音頭

作詞 橋間 哲也
作曲 福島 一美
編曲 吉川 錠晴
唄 片淵由美子
コーラス タイニーショツパ

一、太鼓叩けば(チヨイトネ) ぶどうもゆれて
伸びて栄える 夢を呼ぶ
幼馴染みの 天山さえも
踊る稲穂に えびす顔
※老いも若きも リズムに合わせ
芦刈音頭で ひと踊り

二、御田祭り(チヨイトネ) みそめたあの娘
踊り自慢で 器量よし
愛のかけ橋 住の江橋の
月もみどれて 立ちどまる
※くりかえし

三、海は有明(チヨイトネ) 潮風うけて
海苔が景気の 音頭とる
ちよいと浮かれて むつごろどんも
踊りみたくさに 背伸びする
※くりかえし

四、今も昔も(チヨイトネ) 変わらぬものは
熱い情けと 面浮立
祭りばやしの 音色も冴えて
実りゆたかな 明日を呼ぶ
※くりかえし



「小城市報さくら」は大豆油インキと再生紙を使用しています。